

2021年12月1日
株式会社アルペン

アルペングループ 物流現場のDXを加速 ギークプラス社製 AI 物流ロボット 国内最多の216台稼働開始！

株式会社アルペン（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長：水野 敦之）は、拡大するEC需要とお客様のニーズに柔軟に対応できる強固な物流網を構築するため、プロロジスパーク千葉ニュータウン内（印西市）で展開するEC物流拠点に、株式会社ギークプラス社製の自動搬送ロボット「EVE シリーズ/P800R」（以下、「EVE P800R」）を追加導入し、同社の稼働台数としては国内最多の216台を稼働、1フロア7,000坪へ全面展開いたしました。



■EC需要拡大を見据えた戦略投資

当社は2018年にEC物流拠点（プロロジスパーク千葉ニュータウン内、東日本フルフィルメントセンター、以下、東日本FC）を立ち上げ、国内導入事例初となる自動搬送ロボット「EVE シリーズ/P800」（以下、「EVE P800」）を56台導入致しました。以降、EC事業は毎年150%以上の成長率で拡大しており、需要に合わせて拡張できる自動搬送ロボットのメリットを最大限活かして、3年半の間に段階的に投資を行ってまいりました。

そしてこの度、今後の更なるEC需要拡大を見据え、自動搬送ロボットの最新モデル「EVE P800R」の追加導入を行い、稼働台数が国内最多の216台となりました。合わせて、EC物流拠点である東日本FCをロボット専用のセンターにいたしました。これにより自動搬送ロボットに合うアイテムを1拠点集約し、作業効率の最大化を図ると共に、ロボットに合わないアイテムは別拠点で取り扱うことで、EC物流拠点を2拠点体制とし、更なる需要拡大を見据えた物流体制へ移行します。

■国内最多 216 台が稼働するロボットセンターの特徴

約 7,000 坪のエリアで、自動搬送ロボット 216 台、ロボ棚数 3,207 台、ロボットによって運ばれた棚から商品をピックアップする作業台であるステーション 19 台を設置しております。段階的に投資を行ってきたため、自動搬送ロボット 216 台は、旧モデルの EVE P800 ならびに最新モデルである「EVE P800R」の新旧モデルが混在して稼働しております。ロボットの特性を生かして、需要に合わせて台数増加を行うことで生産性を高めております。今回の追加導入およびロボットセンターの設置により、これまでに比べ保管能力は 2 倍、出荷能力は 3 倍となり、今後の更なる需要拡大にも対応してまいります。



■アルペン×アッカ×ギークプラスでロボット導入効果の最大化へ

当社は、自動搬送ロボットの導入効果を最大化するため、ギークプラス社、株式会社アッカ・インターナショナル(アッカ社)と共同でチームを立ち上げ、効率改善の取り組みを継続的に実施し、国内トップレベルの作業生産性を実現しています。

ギークプラス社はメーカーである優位性を生かし、当社センターにあわせた搬送プログラムの変更や追加のプログラム開発にまで踏み込むこと、またアッカ社は今までのロボットオペレーションの知見を生かし、WMS(倉庫管理システム)までを絡めて生産性向上を追求し、当社は物流を考慮した商品供給や販売計画を立て、三社で協業しながら、効率・キャパシティの最大化を図っています。これらの取り組みにより、当初より配送リードタイムの大幅削減に成功しております。



今後も、EC の需要拡大のみならず、人手不足、作業負荷軽減、物流費の高騰に対応していくため、当社は物流に積極的に投資を行ってまいります。自動化、省人化にとどまることなく、物流現場の DX を加速させ、お客様へより品質の高いサービスを提供し、スポーツの発展のために、そしてスポーツを楽しむお客様のために、挑戦を続けてまいります。

■株式会社アルペンについて

創業 : 1972 年 7 月

資本金 : 151 億円

業績 : 売上高 2,332 億円、経常利益 168 億円(2021 年 6 月期)

事業内容 : ・ スキー用品及びゴルフ、テニス、マリン、野球用品等
各種スポーツ用品、レジャー用品の商品開発、販売
・ スキー場、ゴルフ場、フィットネスクラブの経営

【問い合わせ先】

株式会社アルペン戦略企画室 広報担当(柴田・廣瀬) : 052-559-0138

アルペングループホームページ : <https://store.alpen-group.jp/corporate/>